

財政収支(1-6月)

(1) 1-6月の歳入は前年同期比103.8%増、税収は同100.5%増。歳出は前年同期比93.7%増。
 (2) 結果として1-6月の財政収支は7,471.83億リラの赤字(前年同期比54.6%増)、プライマリーバランスは1,727.60億リラの赤字(同16.9%減)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-6月(A)	2024年1-6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	18,803.49	38,313.65	103.8%
税収	16,023.12	32,133.65	100.5%
所得税	2,591.23	5,875.35	126.7%
法人税	2,907.68	4,658.47	60.2%
付加価値税(国内及び輸入)	4,847.31	10,673.76	120.2%
特別消費税	3,250.68	6,087.26	87.3%
その他税収	2,426.22	4,838.81	99.4%
税外収入等	27.80	61.80	122.3%
歳出(b)	23,635.77	45,785.49	93.7%
人件費	5,574.35	12,854.20	130.6%
物品及びサービスの購入	1,641.19	2,717.88	65.6%
経常移転	10,463.92	18,289.98	74.8%
資本支出	1,336.54	2,875.10	115.1%
支払利子(c)	2,752.44	5,744.24	108.7%
その他歳出	1,867.33	3,304.09	76.9%
財政収支(a-b)	▲ 4,832.28	▲ 7,471.83	▲ 54.6%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 2,079.84	▲ 1,727.60	16.9%

経常収支(2024年1-5月)

(1) 2024年1-5月の経常収支は、176.14億ドルの赤字(前年同期は374.49億ドルの赤字)。
 (2) 2024年1-5月の貿易収支(物品)は263.72億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は126.60億ドルの赤字で前年同期から黒字幅拡大。

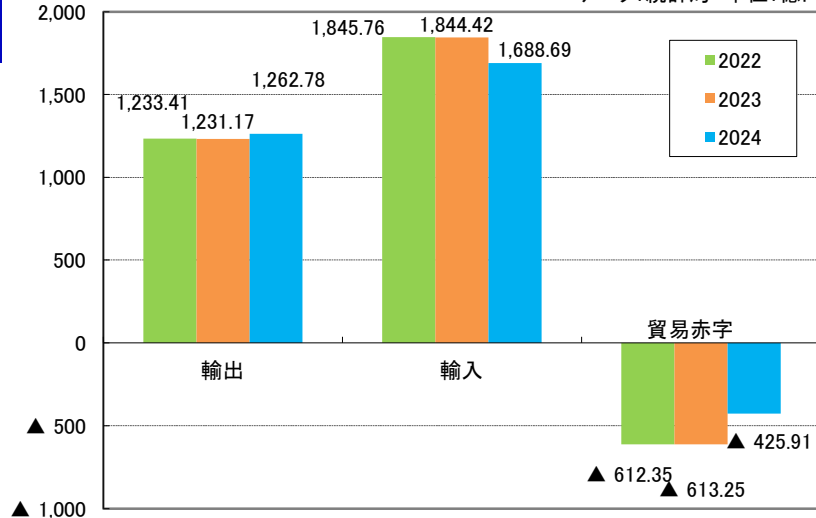
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-5月(A)	2024年1-5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 374.49	▲ 176.14	53.0%
貿易収支(物品)	▲ 471.54	▲ 263.72	44.1%
サービス収支	148.16	151.01	1.9%
旅行収支	116.19	126.60	9.0%
第1次所得収支	▲ 51.98	▲ 62.76	▲ 20.7%
第2次所得収支	0.87	▲ 0.67	▲ 177.0%
労働者送金	1.06	0.50	▲ 52.8%
資本移転等収支	▲ 0.72	▲ 0.23	68.1%
金融収支	▲ 527.55	▲ 300.07	43.1%
直接投資	▲ 21.18	▲ 15.04	29.0%
証券投資	29.47	▲ 115.17	▲ 490.8%
その他投資	▲ 158.51	▲ 94.69	40.3%
外貨準備	▲ 377.33	▲ 75.17	80.1%
誤差脱漏	▲ 152.34	▲ 123.70	18.8%

貿易収支(1-6月)

(1) 1-6月の輸出額は1,262.78億ドル(前年同期比2.6%増)、輸入額は1,688.69億ドル(同8.4%減)となり、この結果、貿易収支は425.91億ドルの赤字(同30.5%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-6月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.3%(前年同期は42.1%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は32.4%(前年同期は28.2%)となっている。

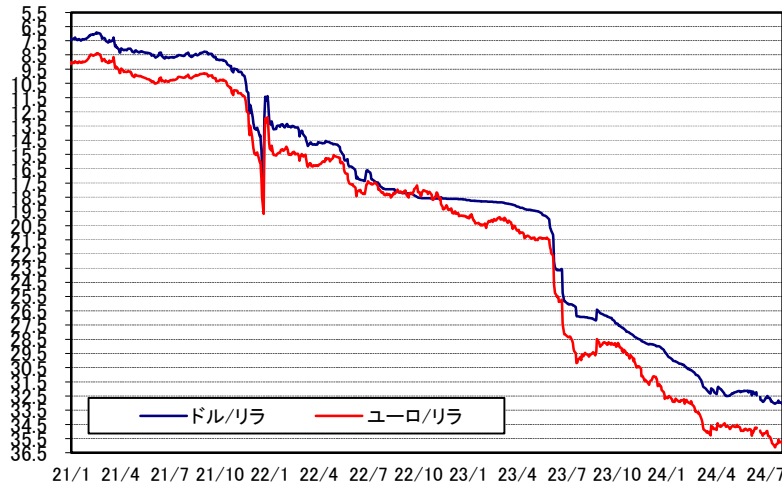
データ:統計局 単位:億ドル



為替(7月)

23日の金融政策委員会で政策金利の据え置きが決定され、金融引締めは維持され、今月も比較的為替は落ち着きを見せている。月末は1ドル=33.08リラ(前月末比0.7%安)、1ユーロ=35.81リラ(同1.9%安)となった。

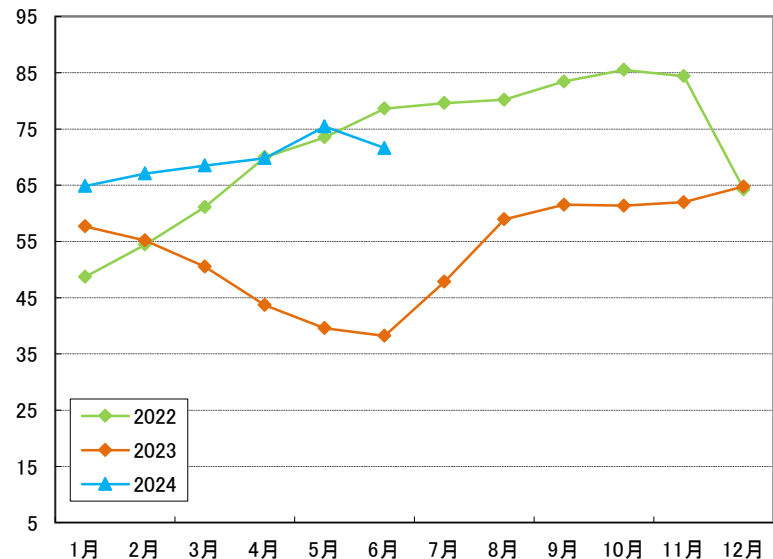
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(6月)

- 6月の消費者物価は前年同月比71.60%増、前月比1.64%増。
- 項目別にみると、前年同月比107.11%で教育が、前月比3.79%で住居が最も上昇した。
- 2024年末のインフレ率の中銀目標(5/9時点)は前年同月比38%。
- 国内生産者物価指数は前年同月比50.09%増、前月比1.38%増となった。

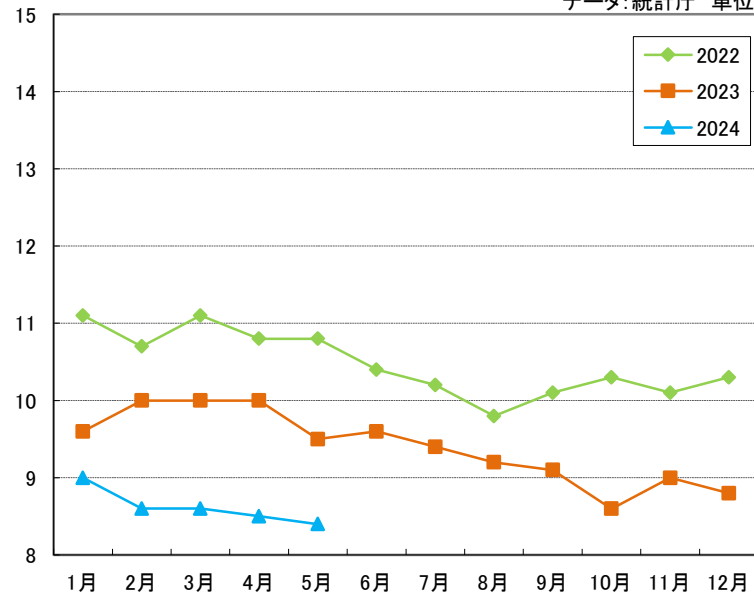
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(5月)

- 5月の失業率(季節調整後)は8.4%となり、前月から0.1ポイント減少。
- 労働力人口は3,593.1万人、就労者数は3,292.0万人、失業者数は301.1万人。
- 男性の失業率は7.0%、女性は11.0%。若年層(15-24歳)の失業率は15.0%となっている。

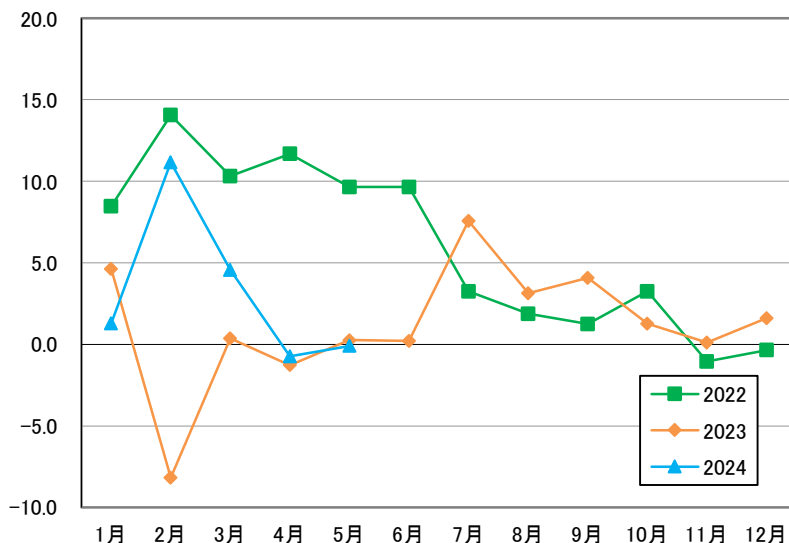
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(5月)

(1)5月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)0.1%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比1.5%増、資本財が同3.3%減、中間財が同0.3%増となった。

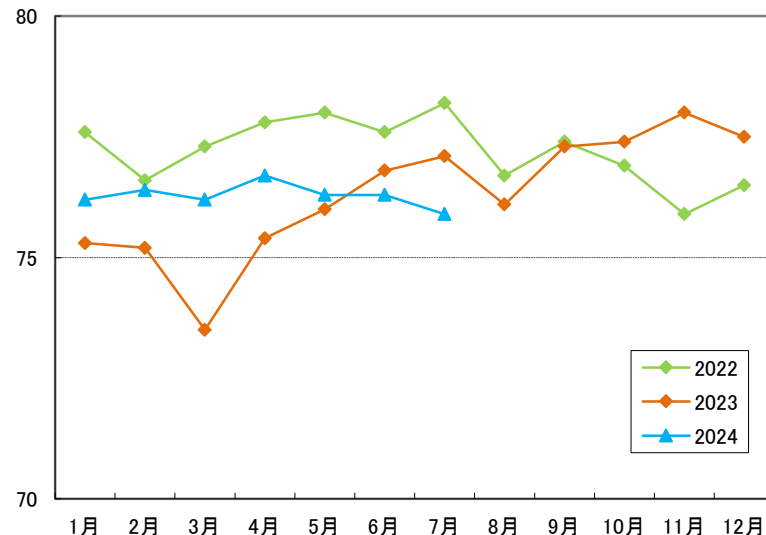
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(7月)

(1)7月の設備稼働率は75.9%となり、前年同月から1.2ポイント減少し、前月から0.4ポイント減少。
 (2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品製造業(家具を除く)(83.0%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(61.7%)が最も低い稼働率であった。

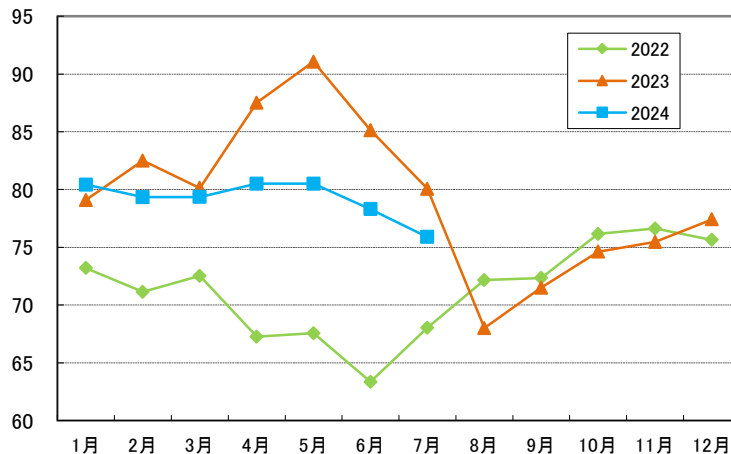
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(7月)

(1)7月の消費者信頼感指数(季節調整値)は75.9ポイントで、前月から2.4ポイント減少。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。

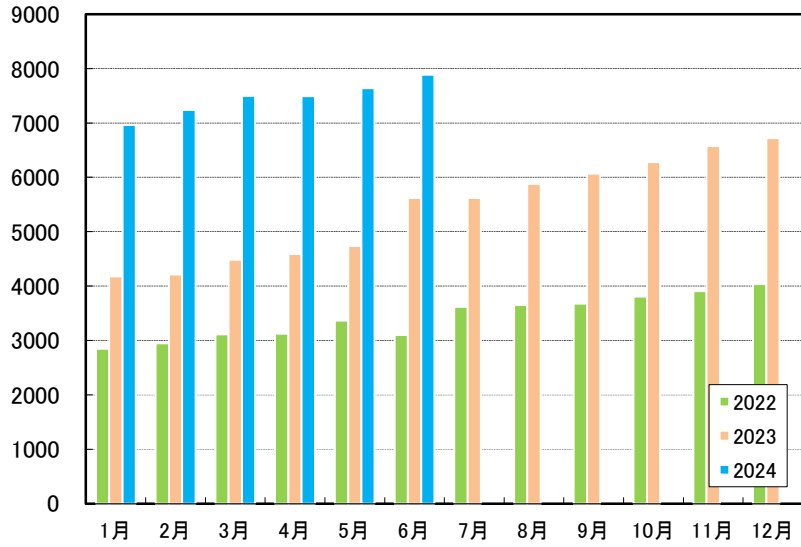
データ:統計庁 単位:ポイント



中央政府債務残高(6月)

(1)6月末時点での中央政府債務残高は7兆8,845億リラとなり、前年同月比40.4%増、前月比3.2%増となった。
 (2)また、国内債務比率は49.4%、自国通貨債務比率は40.2%(2023年末は35.8%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.7%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

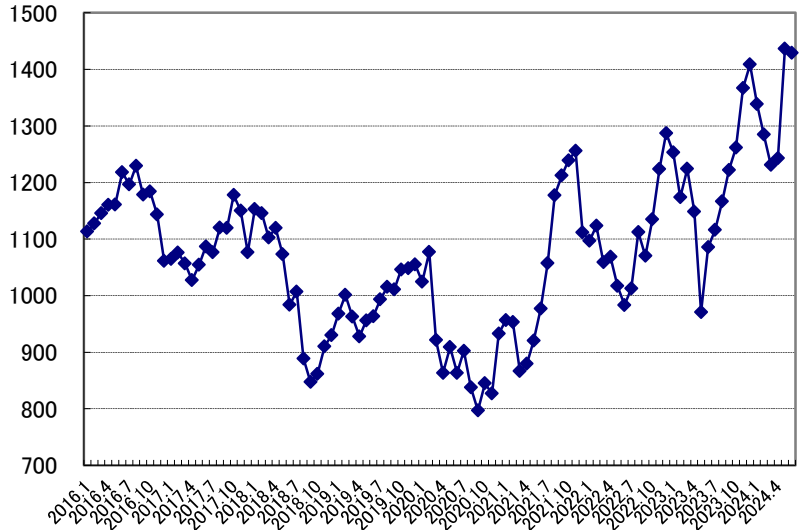
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(6月)

(1)6月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,429.10億ドルとなった。
 (2)前月から73.8億ドル減少した。

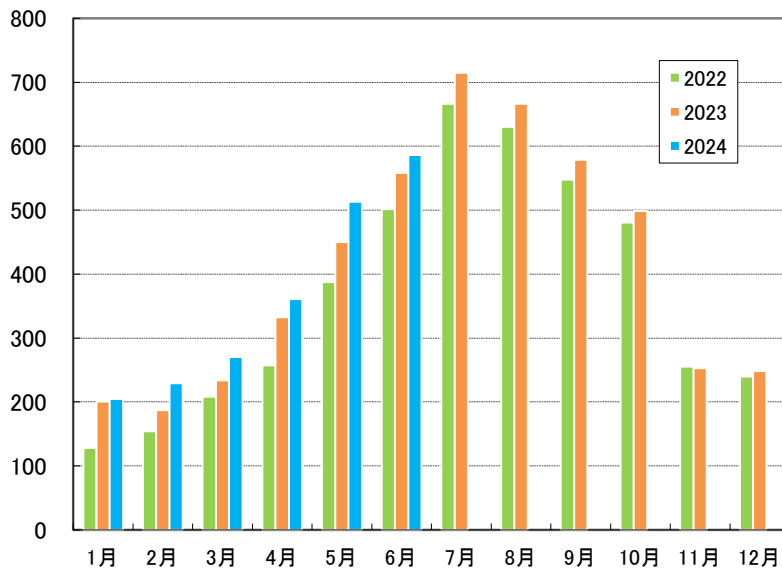
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(6月)

(1)6月の外国人訪問者数は5,860,446人で、前年同月比4.95%増。日本は11,891人であった(前年同月は5,972人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、871,613人で全体の14.87%を占め、以下、ドイツ(614,727人)、英国(563,836人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

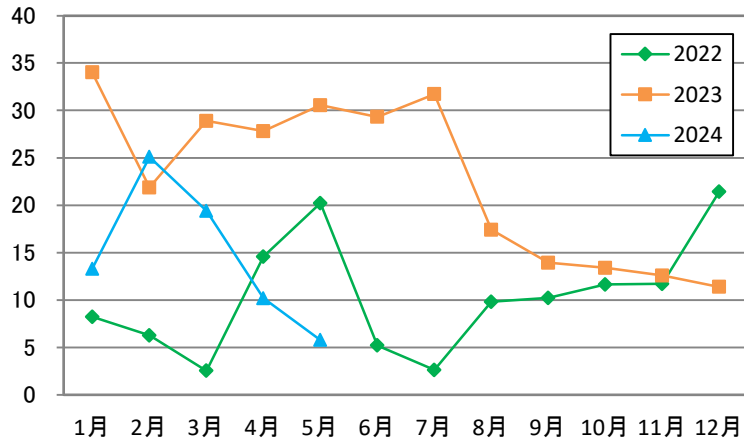


小売売上高(5月)

(1)5月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)5.8%増、前月比(季節及び日数調整後)0.2%減。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比8.1%増、繊維・衣料が同4.4%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同12.2%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

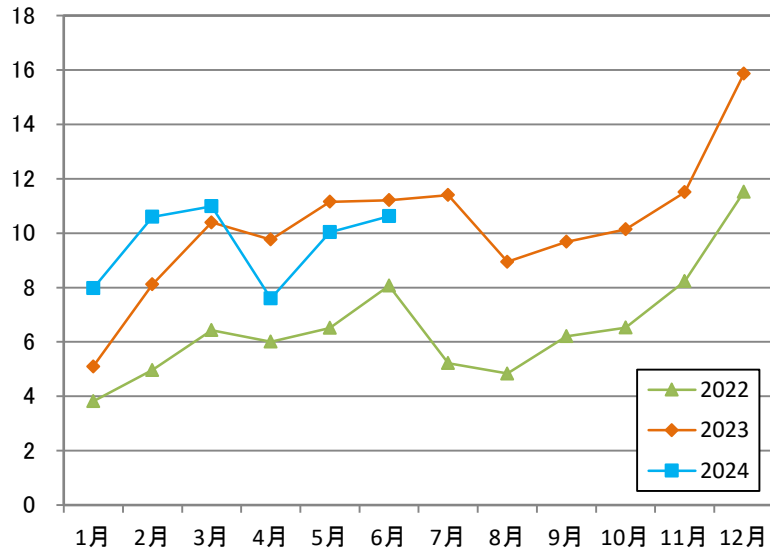


新車販売台数(6月)

(1)6月の新車販売台数は106,238台で前年同月比5.28%減。

(2)6月の内訳は乗用車が87,858台(前年同月比3.6%減)、小型商用車が18,380台(同12.6%減)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(6月)

(1)6月の住宅販売戸数は79,313戸で前年同月比5.2%減となった。

(2)6月は新築が25,425戸(前年同月比1.8%減)、中古が53,888戸(同6.7%減)。

(3)6月の住宅ローンでの購入は6,813戸(前年同月比49.4%減)、その他が72,500戸(同3.3%増)。

データ:統計庁 単位:万戸

